

学校運営委員会だより No.7

委員長 高成田 享
校長 後藤 真司

- 1月22日(金) 17時00分~18時30分 第7回学校運営委員会開催 於:図書館
《出席者》 岡庭 茂行 菊池 実香 熊谷 典子 高成田 享 田中 賢一
外山 悅朗 松浦 和輝 山崎 夏乃羽 後藤 真司
(教員) 遠藤 修 境野 孝徳 大橋 佑基 北川 由美 丸岡 愛子 由井 紗子 小木曾 大智

(1) 委員長より ~報告・あいさつ~

学校運営委員会がゲストティーチャー候補者調整・依頼など積極的に参画したドリームプロジェクト<キャリア教室>が1月16日の土曜授業日に実施されました。子どもたちが興味をもってゲストティーチャーの話を聴いている様子を見て、委員会として学校をサポートすることができたのではないかと思いました。

もう1点、報告があります。2年生の児童数は現在78名で、1学年と2学年は35人学級になる国及び都の学級編制方針に沿って、2年生は現在3学級編制になっていますが、3年生になると40人学級となるため、39人ずつの2学級になります。そうなると、1学級の人数が一気に50%も増えることになり、学習指導面での不安とともに、コロナ対策で机と机を離すなどの対応が十分にできなくなる心配があります。そこで昨年末に、学校運営委員会として都と世田谷区の教育委員会宛に3学級での編制を求める要望書を出しましたが、その回答が区教委より届きました。規定通りの対応しかできないとの回答で、残念な結果となりましたが、区教委には問題の所在を認識させることができたと思います。

(2) 学校の現況報告(校長より)

- 今週、1月の「あいさつ週間」に取り組んでいます。今月は2年生が担当となり、毎日多くの子どもたちが積極的に参加し、活気のあるあいさつ週間になっています。
- キャリア教育の一環として、5・6年生を対象に「ドリームプロジェクト<キャリア教室>」を実施しました。子どもたちにとって学びの機会になりました。お世話になりました。
- 感染対策を講じながら5年生が、東京フィルハーモニー交響楽団の弦楽五重奏を鑑賞しました。その他の行事等についても、区からの方針を受けるとともに、工夫しながら進めています。
- 2月1日より区立小中学校において、電話対応における音声案内を開始します。また、給食における牛肉の使用自粛が解除となり、本校でも食材として扱っていくことにします。
- 道徳授業地区公開講座については、ホームページで授業の様子や指導案等の報告を行います。
- 笛原横断歩道橋の工事が終了したため、通学路を通常通りに戻します。
- 本校PTAが中心となって行っているアルミ缶回収の活動が雑誌(機関誌)に紹介されました。

＜説明資料＞・学校における牛肉の使用自粛解除と本校の対応について(保護者配布)

- ・区立小学校の電話対応における音声案内の開始について(保護者配布)
- ・笛原横断歩道橋改修工事終了に伴う通学路の変更について(保護者配布)
- ・アルミ缶回収の現場から(笛原小学校の回収活動の紹介) *飲料メーカー機関誌掲載記事
- ・令和2年度学校自己評価報告書(案)及び学校改善策についての結果報告(案)

(3) 教員より ~教育活動・子どもたちの様子・今後の予定など~

○キャリア教室は、とても貴重な機会となりました。お話を聴いたりメモをたくさん取ったりと、ゲストティーチャーの職業についてはもちろん、社会で生きる中での大切なことを学びました。

○あいさつ週間では、任意の参加にもかかわらず、毎日多くの子どもが参加しています。2年生と1年生が合同で「おもちゃ大会」を行いました。2年生は、1年生におもちゃの作り方を教えることで、国語の説明文の学習に、得たことを生かしている様子でした。

- 来週から2年生から5年生へのタブレット型端末の配布が始まります。目の教室では、今後、タブレット型端末を個別指導等で活用していくよう調整を行いたいと思っています。
- 子どもたちは、キャリア教育を通して自分のなりたい職業について知るとともに、どの職に就くにも必要な力について学ぶことができ、充実した時間になりました。
- 感染対策として近距離でのペア学習を自粛していますが、全体で互いの考えを共有する時間が多くなったことで、子どもたちは、大勢の前で自分の考えを話す力が付いてきていると感じています。
- 4年生は、聴覚障害の方をゲストティーチャーに招いて「手話教室」を開きました。子どもたちは、「誰もが気持ちよく生きることができるには」について考えを深めることができました。また、タッチ・ザ・ワールドから講師を招いた「多文化体験教室」で、外国の文化にふれることができました。

(4) 各委員からの質問・意見と学校側の回答 【☆：各委員 ★：校長・教員】

- ☆キャリア教室では、ゲストティーチャーとしてお呼びした講師の方に緊急事態宣言ということで来られなくなった方がいて残念でした。青少年経営地区委員会主催のドッジボール大会など、いろいろな催しがコロナの感染防止対策で中止になったことも残念です。
- ☆キャリア教室に関連してですが、子どもたちと一緒に保護者も学ぶような機会をつくれば、保護者ももっと学校全体に関心をもつのではないかと思いました。
- ☆キャリア教室は、子どもたちがいろいろな職業について知るというよりも、それぞれの講師が話した仕事の大切さを受け止め、どういう大人になるかを考える機会になったと思います。
- ☆キャリア教室の講師は10人を予定し、当初1教室に2人の講師という教室も予定していましたが、緊急事態宣言を受けて3人の講師が辞退されることになりました。そのため、1教室に1人の講師ということで、子どもたちも落ち着いて話を聞くことができたのではないかと思います。講師の方々も「話しがいがあった。」と喜んでおられました。
- ★新しい教育の取組として「せたがや11+」が始まっています。キャリア教育を柱に据え、子どもたちに未来をデザインする力を身に付けることをねらっています。今後とも継続して「キャリア教室」を企画し、子どもたちの学びの機会をつくりていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。
- ☆緊急事態宣言を受けて、今後の行事や活動がどのようになるか心配していたのですが、学校から配布されたお知らせには、それぞれの対応についてきめ細かに分かりやすく書かれていて、保護者としてもありがたかったです。いろいろな行事がなくなる中、5年生は川場村との連携で「箸づくり」という体験学習が入ったことは、よい思い出づくりになると思いました。
- ★6年生については、日光市から講師の方に来ていただき、毎年、日光林間学園のプログラムとしている「ふくべ細工体験」を行う予定です。少しでも日光の歴史や文化にふれる機会になればと思います。
- ☆子どもたち一人一人にタブレット型端末が配布されるということで、大学で学んでいることもあるので、何かお手伝いができればと思っています。
- ☆タブレット型端末の配布に伴い、ネットワーク環境の整備も進んでいるようですが、今後のコロナの感染状況しだいでは、再び臨時休業となる恐れもあり、オンライン授業についても十分な準備をしていただければと思います。
- ★すでに6年生にはタブレット型端末を配布していますが、2年生から5年生までの配布ができたことを踏まえ、オンラインを利用した子ども・家庭との通信状況を確認することから始めていきます。また、ドリルパークの活用は3年生以上で、ロイロノートの活用は5・6年生で少しづつ進めていますが、2月から、Zoomの活用を含めて、2年生以上で学年段階を考慮してオンラインを活用しての情報共有や簡単な学習へと取り組んでいく予定です。

(5) 委員長のまとめ

本日、学校関係者評価委員会の鈴木委員長から、評価委員会がまとめている学校関係者評価委員会報告書についての現段階での報告内容について説明がありました。次回は、これをもとに議論を深め、来年度の学校経営方針に活かしていくようにしたいと思います。

★*次回（第8回）の開催について

令和3年2月12日（金）17時00分から <於：図書館>